



人工的なものは何もない

子どもたちが

体中に汗を吹き出させ

素手で土にふれ、挑み

自然を征服したささやかな爪跡

がけ登り

すべり台

横あるき

背負い登り等々

足腰が鍛えられると

心のバランスまで調和する

太陽と土は井田の子の友だちだ

昭和53年5月1日

編集・発行

岡崎市教育委員会



(天然の崖は人気のある遊び場—井田小)

—教育随想—

才能と教育

木村資生



才能は遺伝によって決まるものか、環境によって作られるものか。これは古くからさんざん論議されてきた問題である。一方の極端な立場は遺伝的要因を否定し、すべてを環境に帰するもので、かつてアメリカで幅をきかせた行動主義者はその例である。彼らは、すべての赤ん坊が、「白紙で」、訓練によって天才から無能者までなんでも作れると主張した。これに對して、遺伝を重視する立場の学者は、持つて生まれた素質が良ければ環境など悪くてもそれを乗り越えて行けるはずだと主張した。この種の論議が単なる主張としてなされているうちは良いが、政治と結びつくと大変である。ソ連ではかつて農学出身のルイセンコがスターリンの権力を利用してパピロフなど正統派のすぐれた遺伝学者を文字通り一掃することに成功した話はわれわれの記憶に生々しい。彼は小麦から人工的処理によってライ麦が作り出せると主張するような独断的な環境論者で、そのためソ連では特に人類遺伝学者の受難は大変なものであった。

その後ルイセンコは失脚死亡し、正統遺伝学が復活したが、今でも遺伝子が才能に関与しているとの主張は共産党からは敵視されていると報じられている。自由主義国のアメリカでも「人民のための科学」を標榜する左翼グループが知能指数の遺伝研究を攻撃しさまざまな妨害戦術に出ているのはごく最近の事である。人の背丈などと違って、才能は複雑な形質で、遺伝はもとより環境にも大きく左右されるどころがこの種の論議をいつまでたつても結着のつかぬものになっている。生まれつきの素質もなく興味も示さぬものにどれほど無理じいして教えてみても（簡単な手足を使うことなら別だが）結局はだめなこととか、一見才能がなさそうでも時には訓練が驚くほどの効果をおげることなど現場で教育に携わる教師の方々は誰よりも良く御存知であろう。この問題に関連して私が日頃考える事を書いて見たい。

最近の遺伝学の知識によると、一卵性のふたごを除き人類集団のうちには遺伝的に同一なものは二人と存在しない。われわれは一人ずつ違った素質を持つて生まれて来たわけである。中には万能選手のようになんでもできる人もいるが、私も含め大抵は得手不得手があり、自分の好きな事、得意な事をやるのと嫌いな事、不得意な事をやるのでは大きな違いがある。われわれにはそれぞれ持つて生まれた才能があり、各人がそれを伸ばして行く事が個人の幸福にも社会の発展にもつながる実に重要なことであると思う。日本の教育は英米に比べ画一的な面が強く、社会の風潮も獨創性を尊重するより一定のわくに右へならへする傾向のあるのは気になる事である。勿論各自がその才能を伸ばすためには本人の努力はもとより周囲の理解と援助が必要で決して容易な事ではない。世の中には才能をうまく伸ばし、丁度良い状況に置かれれば、ダーウィンやアインシュタインに匹敵する大業績をあげうる才能の持ち主が意外に多いかも知れない。このような隠れた才能を引出し育てて行く事が教育の重要な目的であろう。私は自分自身が大した秀才でもなく、才能も著しく片寄っているもので、この点を特に痛感する次第である。また、ふるさと岡崎の若い学徒諸君の事を考えると、一人でも多くの人が才能を伸ばし、生きがいのある仕事を持つようになることを祈らずにはおれない。

(国立遺伝学研究所)

読みきかせ、このよきもの



伊奈弥生

小学校を巣立つ卒業生たちは、どんな感激を胸に秘め、そして、何を考えているのか……と、緊張でこわばったひとりひとりの顔を眺めて思うのである。特に、今年の卒業生は、三年生の時の教え子なので、ひとしおなつかしく感じられた。その子ども達が、つい先日の給食時に、小学校生活の思い出を放送していた。S子が、

「三年生の時の『ああ無情』という本を涙を浮かべて読んでもらったことを忘れることができる。いかに本が、人に感動を与えるものであるかがよくわかった……」

と、ことば少なではあったが、スピーカーを通じて私の胸にジーンと響いた。その後の謝恩会の折にも、本の読み聞かせの時の感激についての手紙をもらったり、六年生担任のM先生からも、

「先生の、あの時の読み聞かせが、たくさんの子どもの心をつたわらした



メダカとり……。

母親に作ってもらった手網と空かんを持って、田んぼに出かけた子供の頃が懐かしい。田んぼには一年中水があり、田んぼとそれに続く水路にはメダカが群れていた。メダカばかりではない。オタマシヤクシ・ドジョウ・コオイムシ・ゲンゴロウ……、子供の友達には事欠かなかった。泥だらけになってひつかきまわして、こわいおじさんにどやされたものだ。最近、高度成長の結構なご時世でか、メダカも、田んぼも、こわいおじさんもないなくなりました……。

メンバ・メンバコ・メンバチと呼んでいたメダカだが、京都ではウキンタ・オ

キンチャ、大阪ではマメンジャコ、長野ではアブラギなど、方言のきわめて多い魚である。

「メダカの学校は、川の中……。」という歌はよく知られているが、歌の作者も歌っている人も、メダカの本当の姿をあまり知らないのではないだろうか。

メダカは川には住まない。昔は田んぼや水路のよどみ、ため池に多かつたが、農業の近代化により、イネのとり入れが終った後は水なし田んぼ、水のある時でも化学肥料や農薬を使うので、ほとんど姿を消してしまつた。現在では、山の古いため池の浅瀬に追いやられて、細々と生きている状態である。

これはほとんど知られていないことであるが、メダカはもともとは南日本にしか分布していなかつた暖地性の生きものであるというから意外である。大正十五年発行の、権威ある図鑑にも、「……日本の暖地に分布する」と記されている。

しかし、今では、いろいろな人の手で移植され、本州は青森県まで、さらに北海道まで繁殖がみられるようになってきていると聞く。また、大正末よりアメリカから移入した西洋メダカ（カダヤシ・グッピー・タツプミノ）が、日本の各地に定着し、日本メダカをしのぐ繁殖ぶりであるというから驚く。

メダカは理科教材に使われるだけでなく各種の生体実験材料にも用いられる。二十〜三十度に水温を保ち、えさを充分与えさえすれば一年中産卵し、繁殖する。

メダカの寿命は普通一年である。アクアリウムで飼育すると意外に可愛らしく、雌雄の区別、採食、産卵、習性、なわばり行動など観察できて興味深い。

メダカの入手が難しく、困ってみえるということをよく聞く。入手方法であるが、手網を持ってため池へ行かれることをおすすすめしたい。岡崎市はため池が多く、まさにポンツク天国である。また、山奥の休耕田や山田の溝などでも、メダカの学校の疎開先に出会うことがある。

縁日や蓮如さんにてているヒメダカは野生種（クロメダカと呼ばれている）の突然変異種で、このほか、シロメダカというのもあり珍重されるという。手つとり早く入手したい方は、釣道具屋でメバル釣り用のえさとして商品化されているものを購入されると便利である。

（羽根小 永井 貞）



よ。」
と、はげましのことをばをくださった。私は、このM先生と卒業生のことを素直にうけとめることができた。

（矢作西小）

ネクタイ

浅井 稔

きょうは授業参観日、少しめかして教室に入った。そのとたん、

「あつ、先生、ネクタイは？」

と、言われて、急いで取りに行こうとしたが、無情にもチャイムが鳴ってしまった。気にはなつたが、しかたなく授業を始めた。

「兵十は、なぜ食乏とわかるんですか。」

「服がボロボロだからです。」

「いい服も着ているよ。」

「そんなのは葬式のときて、特別だよ。」

「こまではよかつたのだが、

突然、

「先生と同じで、兵十はいつもいっしょの服で食乏だよ。」

「そうだ、先生はネクタイもない。」

「何いつてる。職員室にちゃんとおるよ。」

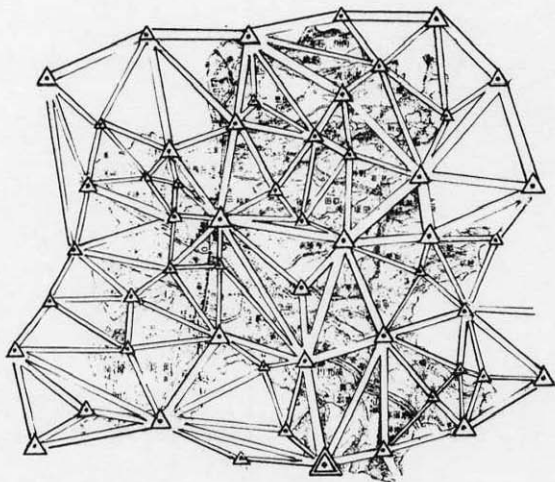
さつき、取りに行こうとしたがね。」と弁解したが、子供達も父兄もケラケラワッハッハッハ。あーあ、こんなところでノーネクタイがばれるとは……。

それ以来、私の首にはネクタイがぶらさがっている。

（藤川小）

岡崎再見

⑦ 三角点

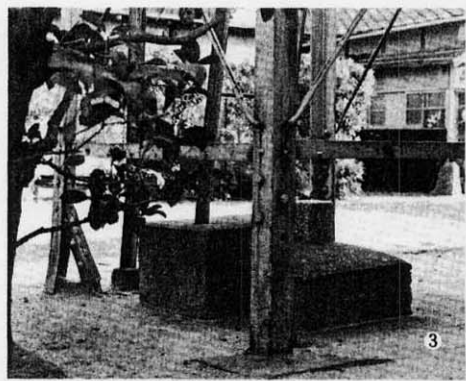


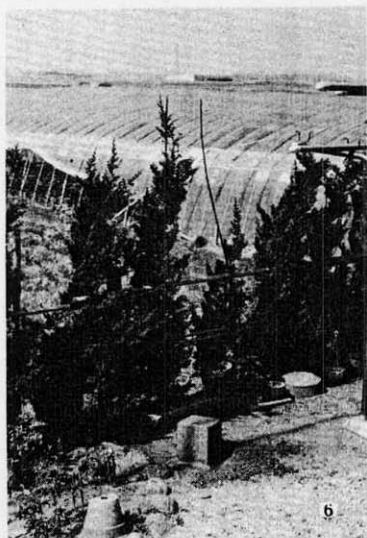
三角点は一等から四等まで、全国的にその数九万。土地の位置を測定する基準点として、見晴しのよい山頂などに設置されているので、目にふれる機会が少ないため、名前は知っているが実物を知らない者も多い。

明治十五年から大正五年にかけて、参謀本部の手で始められ、今は建設省国土地理院の仕事となっている。全国に一等三角点は補点を含めて約九百。二等約五千、三等約三万。中には土地開発などのため消え失せているものも少くないという。

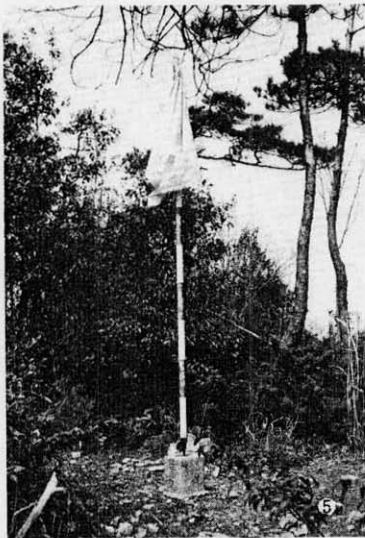
昭和二十六年から設置され始めた四等三角点は、昔の字限図（カタリズマ）に代わる大縮尺の精密な地形図を作る目的で、約二平方キロメートルに一個ずつ設置されつつある。

大地震の前には異常な土地の水平移動があるという。三角点は地震予知の重要な武器として見なおされるようになってきた。市内に二十余个。地形図を手に探し歩くのもまた楽しい。





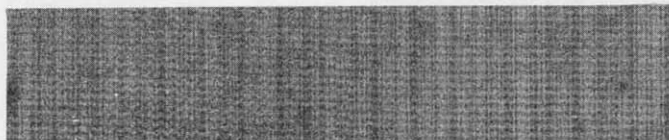
6



5



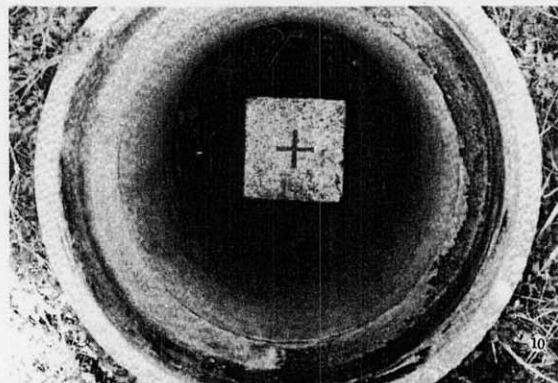
4



8



7



10



9

- ① 矢作川堤防の三角点は堀りおこされ、みじめな姿に……。
- ② 意外なところにひっそりと……。丸山町経ヶ峰山頂の三角点。
- ③ 火の見やぐらの下に設置された四等三角点（小針町）
- ④ 緑の保護のため、やぐらを組んで偏心観測する。（高隆寺町）
- ⑤ 見晴らしのよい山頂に……竜泉寺山頂の三角点。
- ⑥ 後の造成のため、民家の庭先にはいり込んだ三角点。
- ⑦ 表に三角点、裏に岡崎町とある三角点の案内標示。昔の人の心いきを感じる。三角点設置完了は大正五年（甲山山頂）
- ⑧ 市内で最も高い桑谷山頂の一等補点。海拔四三五・四。
- ⑨ 最も低いフタバ産業総合グラウンド内の三角点。海拔九・六。
- ⑩ 三角点は一等から四等まで同形同大。四角柱の上に十字がきざんである。材は小豆島産が主だが岡崎の青石も使われた。

カイコ先生

竜美丘小 清水英子

新学期が始まった四月三日のことである。

「先生。どこかに桑の葉がない。」「何だ。桑の葉。一体どうしたっていうの。」「だってこの前、先生からもらったまゆから、ガが出て卵をうみ、それがまたかえったんだもの。」

四年生に進級したばかりのA子は真剣そのものである。「でもおかしいわね。確かあれは夏休みになった時にあげたんだってわね。どうして今ごろけこが出て来たのかな。」「私ね。あれから家で一回通り一人で飼ったの。だからこれがかえるの二回目よ。でも前の時は、桑の葉があつたけど、今度はないんだもの困っちゃった。」「四月では桑の芽はふいてないし、問われたものの何と答えてよいか困惑し、薄情のようだったが、

「どうしたらよいか、先生も一度考えておいてあげるね。」「その場はお茶をにごした。

新指導要領では削除された

はい。もの、一サイクルが短期間であること、刺したり、逃げたりせず、手軽に菓子箱で飼育できる利点を考え、大量にカイコを飼育し、継続観察を始めたのは、昨年の五月であつた。

学級全体やグループの飼育でなく、個人のものとして与えたため愛情を抱き、世話をする気持ちが生まれ、育てていく中でいくつかの事実を発見し、驚きとなり、それらの事実が学習と結びつき、科学する心が養われたものだろう。

三、四日後、A子の発言にはまたまた驚かされた。「先生。カイコはキヤベツの葉でも食べるんだよ。」「生命あるカイコを見捨てるわけにはいかず、考えた末の大発見。」「冷蔵庫へ入れておけばガになるのが遅れ、暖房の部屋におけば速く出る(今回)ことなど、新知識を得意げに語るA子の瞳は、喜びに満ちあふれていた。

問題にぶつかり、くじける事なくそれを解決しようとする心意気を育てる必要性をA子に教えられたような気がする。

「先生。今年もカイコを飼おうね。」「三年生で学習済みなのにこういう四年生。

「先生が、カイコを持って来てくれるんだよね。早く飼いたいな。」「先輩の飼育を見ていた新三年生。今年是一年担任で、カイコとは縁が切れたと思っていたのは私一人の考え。どうやらカイコ先生にまつりあげられ、カイコとの戦いが始まりそうだ。

教育日々



トランポリン

緑丘小 薮田篤夫

校門を姉と上級生の手にぶらさがるようにして、C子がここにこやつてくる。今日もご気嫌のようだ。

早速教室に行ってみるとC子が姉の手を引っぱって、「いっちゃいや、いっちゃいや」と泣きべそをかいている。Kがいじわるを言い、こづいたとか、弱虫のC子にはショックである。

Kの姿はどこにもない。四年の姉はまったく困惑の様子である。優しい姉であるが、この特殊学級に足を入れるのは、なかなか恥ずかしく抵抗があるようだ。

「Cちゃん、先生とトランポリンをしよう。」「いや、いや。」「まったくお手あげである。トランポリンは好きなので、

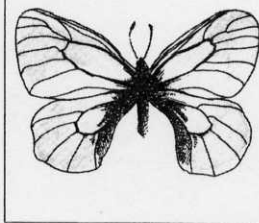
「えい」とばかり抱き上げて、トランポリンに「どすん」間髪を入れずに手をとって、

「うさぎ、うさぎなみにみて、はねる……」を歌ってやると、顔がごみだして、ピョン、ピョン、と跳び上がりだした。「しめ、しめ、これでよし」

「一、二、三、二十交替。」上級生までが参加する。さつきないた鳥がにこにこ、いじわるしたKもどこ吹く風、まったく楽しくなる子どもたちである。朝礼のチャイムが鳴り響く。トランポリンがこの子たちを無邪気にさせる。



と思った。後ろには姉も心配そうに立っていた。妹を思う心が教室にはいる勇気を与えたようだ。いつのまにか、まわりに、級友、上級生があつまってきた。拍手の声援が一段と高くなり、C子は得意でピョン、ピョン……。スカートの宙に舞う。まったく愛らしい。そのうちに、Kが、「次は僕だよ」と、せがんでくる。



多彩な受賞相次ぐ

東海中・愛宕小・葵中学校へ

岡崎の教育水準を示す全国・全県レベルの大賞受賞校は昨年度の本誌No.54で紹介したが、本年度も受賞の朗報が相次いでいる。

喜びにわく受賞校は次の通り。

■野性鳥獣保護功労者表彰

▼環境庁長官賞 東海中学校
去る五月十三日前橋市県民会館において、第32回愛鳥週間全国野鳥保護の集いで、全国鳥類保護連盟会長（山階芳麻呂氏）から表彰された。

■昭和52年度全国学校緑化コンクール表彰

▼特選（文部・農林大臣賞・日本放送協会賞） 愛宕小学校
来る五月二十一日高知市で開催される第29回全国植樹祭で、国土緑化推進委員会会長（堀茂

氏）から表彰される。

【寄贈刊行物・資料等】
◆特殊教育研究集録第六集
特殊教育部

◆研究集録書写 書写部
◆へき地教育研究集録第五号
県へき研協議会・三教研教育部

◆歌集花菱第三集 岡崎働く婦人会館短歌クラブ

氏）から表彰される。

因みに、今回までの各年度本市特選受賞校は次の通りである。

▼昭36 〓南中 ▼昭37 〓矢南小
▼昭39 〓葵中 ▼昭43 〓美川中
▼昭47 〓城北中 ▼昭48 〓井田小
▼昭49 〓竜海中 ▼昭50 〓甲山中
▼昭51 〓連尺小

■昭和52年度調査統計表彰

▼文部大臣表彰 葵中学校
昨年度文部省調査統計学校基本調査において、卒業生の追跡調査処理等が優秀であるとして

文部省企画部調査統計課からの文部大臣表彰受賞が決定、四月二十八日県庁で表彰伝達を受けた。

■53年度小中学校長会員紹介

【小中学校長会】会長 〓甲山中・藤岡太郎 ▼副会長 〓三島小・

◆残照第五号 岡崎市立矢作幼稚園 P・T・A

◆算数科わかる授業をめざして 幡豆郡横須賀小学校

◆給食のまとめ 学校給食部
◆実践記録集集活動 特活部
◆視聴覚教材・機材目録（一九七八年版） 視聴覚ライブラリー

山内一良 ▼副会長 〓連尺小・植田梅芳・羽根小・榑原二夫 ▼評議員 〓羽根小・榑原二夫・秦梨小・河口進・細川小・石川寛・岩津小・市川幸男・根石小・片岡利夫・梅園小・岩月貞夫 ▼庶務 〓六名小・稲垣茂 ▼会計 〓広幡小・荻野富義 ▼監査 〓緑丘小・岸田達夫

【中学校長会】会長 〓甲山中・藤岡太郎 ▼副会長 〓葵中・塚本時丸・竜海中・滝口忠男 ▼評議員 〓竜海中・滝口忠男・東海中・山本忠男・南中・神谷卓爾・六ッ美中・太田昇・岩津中・加茂正雄・美川中・石川博 ▼庶務 〓福岡中・神谷四士保 ▼会計 〓城北中・横井滋 ▼監査 〓矢作中・長島利一



●53年度児童・生徒数、教職員数の実態

53.5.1 学校基本調査より

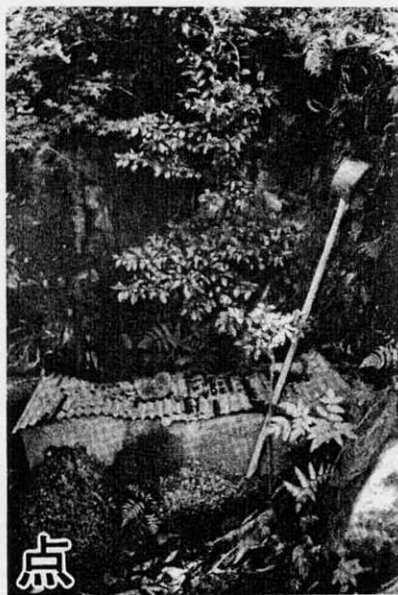
区分	学校数	学級数 (特殊)	児童・生徒数			校長・教員数 (非常勤講師を含む)			養護教員		事務職員		栄養職員
			男	女	計	男	女	計	県	市	県	市	県
小学校	38	699 (26)	12,858	12,157	25,015	469	390	859	38	2	39	22	6
中学校	14	261 (11)	5,268	5,114	10,382	312	123	435	14	0	17	8	0
合計	52	960 (37)	18,126	17,271	35,397	781	513	1,294	52	2	56	30	6
52年度計	52	919 (39)	17,180	16,389	33,569	762	473	1,235	47	6	53	31	7

●学年別児童・生徒数

小学校				中学校			
学年	男	女	計	学年	男	女	計
1年	2,475	2,341	4,816	4年	2,192	2,035	4,227
2年	2,348	2,185	4,533	5年	2,067	1,981	4,048
3年	2,153	1,978	4,131	6年	1,623	1,637	3,260

●学級・学校の規模

	小学校	中学校
1校当たり児童・生徒数	658人	742人
1校当り学級数	18.4学級	18.6学級
1学級当たり児童・生徒数	35.8人	39.8人



所在地—岡崎市奥殿町

奥殿温泉

明治の中頃宇野久次郎氏は名古屋で商売をしていたが故郷の奥殿へ戻って来た。それというのも剣道練習中の傷がもとで一人息子を失うという痛手の上に祖母が原因不明の病で盲目になるという不幸が重なったからである。氏は世をはかんで出家し修業をつまれたという。

ある日、盲目の祖母の枕辺に観音様が現れ、「近くに温泉が出る。」というお告げを受けた。さつそく水質検査を受けたところ、まちがいなく温泉だという。当時は自宅裏から水がわき、葉で受ける位の水量であった。昭和二十七年、棟方氏の代になって再び検査を依頼したところ前と少しも変わらず、ひふ病、心臓病によいという鑑定であった。そこで奥殿温泉として下の川や井戸からも水を集め営業を始めた。温泉といっても観光地のそれとちがって主に病気の人の重宝されたらしい。

営利目的でなく、志だけの料金で、自分でわかし入るといふ位のんびりしたものであった。現在、土砂に埋まって水量はさらにへっている。

●カット

竜美丘小 鈴木由郎

この本を

- もう一つの戦後史 江藤 淳 ￥1,200
講談社
- 醜いアメリカ商人 レオ・グンディ ￥850
日本経営出版会
- あめゆきさんの歌 山崎 朋子 ￥850
文芸春秋
- 続々・逆転の発想 糸川 英夫 ￥870
プレジデント社
- 第二の学校 光定 道次 ￥980
日本経済新聞社
- 授業改造への提言 菊地 啓 ￥2,000
明治図書
- 先生も涙流れたぞ 三好 京三 ￥980
学陽書房
- 日本語の世界 大野 晋 ￥640
朝日新聞社
- 科学の目 都筑 卓司 ￥390
講談社現代新書
- 三河の民話 寺沢 正美 ￥1,000
未来社

お城の桜は岡崎一だと思っていたらどうして……、伊賀川堤、わけても伊賀八幡から女子高にかけての伊賀川堤、花のトンネルの見事だったこと。藤まつり、公園のツツジや五万石フジはたしかに見事だが、溪流にじだれて咲く野フジにも言うに言われぬ風せいがある。今、山はツツジのまつ盛り……。

オアシス

「しごとのおい」がするという。パン屋はメリケン粉のにおい。大工はかんなくすのにおい。畑と土のにおいはお百姓。魚と海のおいは魚屋さん。金持ちのなまけ者は、いくらかいでもなんのにおいもない。(ロギーリ) さて、私たちのにおいは?

アセレバアセルホド、イトハイヨイヨカラマリマシタ。オカアサンニ、「コノモツレタ所ヲキリステマセウカ。」トイヒマシタ。オカアサンハ、「シンボウシテイトイケバ、トケナイコトハアリマセン。」トオツシャイマシタ。……四十年前の小学修身書卷二の教えである。問題が山積みする学級経営だがあせらずに。すこやかに子よ育てとの親心。滝つ瀬をのぼる魚のいきのよさをそのままに。鯉のぼりは、青い嵐の中を泳ぎに泳ぐ。町なかでは、ひとりに比べてこの鯉のぼりの数が少なくなっている。外で遊ぶ子どもが少なくなっていることと、つながりがあるのだろうか。